



4年ぶりの夏休みを頂いて

2月末より4年ぶりに夏休み?を頂いて、5日間の休暇を頂き、沖縄県八重山諸島にある小浜島にひとり旅する機会を頂きました。小浜島は、石垣島と西表島(いりおもてじま)の間にある小さな島です。NHK連続ドラマちゅらさんの舞台になった島としても有名です。この小さい島にこもり、2025年問題について、いろいろ思索にふけりながら、本を書いております。

あと10年で2025年です。団塊の世代が、いよいよ75歳を越えて、後期高齢者になります。社会保障費の高騰とならび、介護に当たる人が不足することでしょう。最も大きな課題の1つは、救急車の搬送依頼が多すぎて、おそらく全て対応することが困難な時代になるかもしれません。その背景には、お迎えが近くなり、介護施設や自宅にいたお年寄りが救急搬送を依頼してしまうと、救急病院は、対応しきれずになることが予想されるからです。

私は、医師になった頃は循環器を専門として仕事をしていました。そして救命救急センターでの経験もありました。その思いから、このままでは、救急医療が破綻してしまうのではと危惧するようになりました。2025年問題に対して何かしたいという思いは、“地域で看取りたい”という思いではなく、“救急医療を守りたい”という思いの方が強いのです。その思いから、2025年問題をもっと一般市民にむけてメッセージを送らないといけない、そんな思いから本を書いています。その一部の紹介します。

人生の最終段階を迎えた人への援助を学ぶ理由

この本は医療者向けの本ではありません。何で人生の最終段階を迎えた人との関わり方を知らなければいけないのと思う人もいるでしょう。そう思う人には、次の提案をしたいと思います。

救急医療は、限られた医療資源であることを、国民みんなで考えて行く必要があります。例えるのであれば、震災などの理由で、一時的にでも電力不足が起きたとき、節電のため電気をこまめに消す努力しました。山登りで数日山を歩く人は、飲料はととても貴重になります。飲み水をむだにする人はいません。同じように救急医療を守るためにも、人生の最終段階を迎えた人をすべて救急搬送することは、限られた医療資源を失うことになるのです。

2025年問題を考えてとき、多くの人が、人生の最終段階を迎えた人と同じ向き合い、逃げないで関わる文化が必要になります。もし、関わり方がわからなければ、どうしてよいかわからずに、救急車を呼ぶ人が後を絶たないでしょう。いつかは必ず訪れる人生の最終段階について、みんなが真剣に考え、1人一人が自分のこととしてこの問題に取り組むことが、2025年問題を解決するために必要となります。

このままじゃダメなんだ、と言う人が、これでいいの、と思えるために

緩和ケアにおいて、最も魅力的な仕事は、痛みを和らげることや、人生の最期に立ち会うことではありません。苦しくて自分を認めることができない人、人に迷惑をかけて自分が好きになれる人が、自分を大切な人間であること、自分が大事な存在であると思える支援の可能性があることです。決して簡単な作業ではありません。

しかし、絶望としか思えない苦しみを抱えた人が、もしかすると、こんな自分でも、生きていて良かったと思える瞬間が待っているかもしれない。その可能性を、理論的な枠組みをもって、援助することを学んできました。ここに緩和ケアの魅力があります。

一部のエキスパートだけが実践できる緩和ケアではなく、苦しみを抱えた人に誠実に向き合い、支援を行う人が、全国各地に広がっていかない限り、2025年問題は解決できません。そのために、これからの10年間で、大切になってきます。

この春には、永年の夢だった人生の最終段階に対応できる人材育成プロジェクトを理念に掲げた一般社団法人を有志と一緒に立ち上げます。そして、これからの10年にむけて、必死に走り続けようと思います。皆様のご支援をよろしく願いいたします。

(小澤竹俊)

写真は、お世話になった食事で偶然、連続4回お世話になった施設のスタッフです。有り難うございました。



MSW 1名募集します

医師増員にあわせて地域連携室の強化目的に医療ソーシャルワーカーを募集します。在宅緩和に興味がある人、あるいはディグニティセラピーに関心のある人を求めます。詳細は、クリニックのホームページより、採用係までお問い合わせ下さい。

診療実績

	2006-2013年	2014年1~11月	2014年12月	2014年計	2015年1月	2015年2月	2015年計	総計
訪問回数	26,421	5,608	627	6,235	623	602	1,225	33,881
自宅永眠	1,087	174	25	199	24	18	42	1,328
施設永眠	96	29	4	33	0	5	5	134
在宅(自宅+施設)	1,183	203	29	232	24	23	47	1,462
病院永眠	288	37	5	42	4	6	10	340